

【会議記録】

第6回一宮市部活動地域移行検討協議会

日時	2025年3月17日（月）14時30分～16時10分
場所	一宮市役所本庁舎 1101会議室
出席者	委員13名（鈴木、宇佐美、長谷川、秦、高木、町田、五藤、伊藤、芳賀、江藤、花村、今村、森）

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

3 報告事項

(1) 2025（令和7）年度 前期休日地域クラブ活動・参加者応募状況について

(2) 2024（令和6）年度 後期休日地域クラブ活動・振り返りアンケート結果について

○ 事務局から以下のように報告があった。

- ・モデル事業への応募状況として、前年度 833 人から今年度 1,640 人に参加希望者が増えた。参加希望者の約半数が新1年生であり、各中学校の入学説明会での説明などを通して、地域クラブ活動に進んで参加しようとする児童が多くいたことが要因と考えられる。
- ・参加生徒へのアンケート結果では、87%の生徒が「次回も参加したい」と回答した。参加したい理由としては、「楽しかったから」が78%と高く、活動に満足を示している一方、「技術力が上がったから」が46%と、月2回の活動での技能の高まりを感じる生徒はそれほど多くなかった。

4 議事

(1) 2025（令和7）年度後期以降の受入団体・指導者の確保に向けて（案）

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・指定管理者主催事業での中学生受入可能な教室について、2月に各校より tetoru 配信を行った。
- ・スポーツ協会所属の各協会との連携について、3月の理事会で地域移行について説明を行った。
- ・保護者への指導者募集について、4月のPTA総会で指導者募集のチラシ配付を考えている。
- ・スポーツ推進委員との連携について、4月の会議で説明を行えるように調整を進めている。
- ・地域づくり協議会での説明について、市民協働課を通じて8月頃に説明を行う予定である。

○ チラシによる指導者の募集について、学校の中だけの指導者なのか、学校を越えた広い範囲での指導者なのかで依頼の仕方が異なるため、その区別が分かるようなチラシを作成してほしい。

○ 人の理解を得るには時間がかかるため、指導者募集のチラシを何度も配付し、「皆で参加して地域を盛り上げましょう！」というメッセージを繰り返し発信していく必要があると思う。

○ 各学校は、自分の学校の特質、子ども・保護者からの要望などから、校長の立場で地域へ指導者の協力を呼びかけてやっていくことも必要ではないか。市全体で行うモデル事業の活動と学校独自の色を出した活動をやっていけば、なかなかよい地域移行ができそうな気がする。

○ 部活動を現場から切り離すことはよいが、これまで部活動が担ってきた異学年の交流の中での学びを学校がどのように補完するのか考えていかなければいけない。

(2) 一宮市地域移行ロードマップ（改訂版）について（案）

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・2024（令和6）年度の実施実績と2025（令和7）年度の予定、2026（令和8）年度の夏までの大会出場について追記し、ロードマップを改定した。国の新たな方針を通して、来年度の協議会の中で、2026（令和8）年度から始まる次期「改革実行期間」のロードマップを作成するとともに、一宮市の地域移行の課題を議論したい。

○ 実施団体の自走について、中学生だけの受け入れだけでなく、高校生や大人など幅広い年齢層の方が参加できるようにデザインしていくことが大切である。

(3) その他

○ 事務局から以下のように提案があった。

- ・スポーツ団体が行う活動で、年間1万円程度で対人・対物賠償と訴訟対応費用がカバーされる「賠償責任保険」を今後の研修会等で実施団体に情報提供していきたい。

5 一宮市教育委員会あいさつ（教育長）

6 閉会のことば